

## 経験を自分の為に活かすことと、後輩へつなぐこと

あと2週間ほどで後期中間考査です。前期2回の考査を振り返り、あなたが**継続すること**と**変更すること**は何ですか。考査までの勉強計画や方法、取り組む内容と場所。何事も、経験を分析し自分の為に活かすことができれば、違う結果が得られます。しかし、**この振り返りをしないまま、なんとなく次の戦いへと突入してしまう人が少なくありません。**

改良ポイントがわからない人は、教科担任の先生や、ある科目が得意な友達、どの教科も平均点以上をとっているようなバランスのよい友達に相談してみましょう。考査は成績で皆さんをランク付けするものというより、ここまでの理解度や学習方法の見直しをはかる機会です。経験を自分の為に活かしましょう。



もう一つは、経験を自分の為に活かすことに加え、後輩につなぐ話です。

今月5日(日)に、岐阜県図書館でビブリオバトルの県大会が開催され、本校から4名の1年生が出場しました。探究の時間に1年生全員で取り組んだビブリオバトルですが、**授業の枠をこえ、校外に一步踏み出すひとが4人もいてくれたことを頼もしく思います。**4人はこの大会を謙虚な姿勢で振り返り、他校の生徒の優れた点から自分に足りなかった点を分析しています。この貴重な学びが消えてしまわないよう、多治見高校の財産として次の一年生につないでまいります。加えて、「本を通して人を知る、人を通して本を知る」というビブリオバトルのテーマに則り、他校に多くの友人ができたようです。大学に入る前にこのような交友関係が築けたことは素敵です。

2年生のゼミ活動でも、先輩から受け継いだことを深め、先行研究をきちんと踏まえた上に自分の考えを構築しようと頑張っている話を耳にします。また、**昨年に引き続きコンクールにチャレンジした人もいます。**全国レベルの大会は簡単ではありませんが、人が経験から学ぶことを大前提にすれば、場数を踏む機会は早くても多い方が吉です！(文責：桑原)

### ♪3年の窓♪

### ヒントは自身の意識から

書物の紙面を通したそれも含め、自覚的に出会った人物から発せられた、気の利いた或いはぞんざいな言葉を私なりに咀嚼し、そこから種々のヒントを会得してきた。個々のフレーズを振り返ると、一対一に当該人物が脳裏に蘇ってくる。先達の残した故事なりことわざ以上に、これらの集積は私に影響を与え、事を為す上で確かなヒントを、更には勇氣や力をも与えてくれた。君たちはこれから受験に突破し、大学で真の学問に触れることだろう。勉学に係る二三のそれを紹介したい。

高1の国語の授業で“数学の答えは、数式ではなく言葉による説明が半分以上必要だ”国語の先生から発せられた意外性からか、印象は強烈であった。高校数学と雖も、たとえ短くとも、答えは先ず論文であらねばならぬ。昨今の趨勢は兎も角も、この認識は私の中では今もなお変わらない。漱石の“こころ”等の内容もあつたらうに全く覚えていない。皮肉にも国語以外のことを多く学んだ。

入学式の祝辞で“凡そ学生たる者、語学の2つや3つを操るは当たり前だ”英語もままならぬというに、独語も仏語もと仰るか。私の憧れる旧制第一高等学校で鍛えた氏からすれば当然なのであろう。著名な理論物理学者である学長の長い祝辞を捨象し、先の一喝が重くのし掛かって未だ耳から離れない。

英語の講義で“凡そ語学でメシを食うヤツは、理解語彙10万語が当たり前だ”早速書店に出向き、氏が編集に携わった岩波の英語辞書の凡例を調べた。見出語彙は約9万語であった。これが学者というものかと悟った。或る学会で、5万語レベルの単語の綴りを間違えた学者に対し、恥を知れと一蹴する氏は勇ましかった。

岐阜県学寮での他校の先輩から“茂角、これ面白いから読んでみる”学習室で数式をひねくり回していた私に、彼は岩波新書“政治”を呈示した。これを機に、岩波に非ずんば本に非ず、とばかりに、岩波新書に傾倒していった。相まって、時の知の巨人たる清水幾太郎の読書論にも触れた。“本には3種ある。娯楽本、仕事本、教養本”君たちに勧めるは、勿論教養の為の読書である。竹内洋の“教養主義の没落”に詳しいが、1970年代に旧制高校的な教養主義がフェードアウトしていったようである。受験真っ只中での読書は、実のところ受験勉強からの逃避である。だが、無事受験を終えたなら、本を乱読するがよい。(文責 茂角)

## 『2年の窓』

### 「ナンクルナイサー」

コロナで3年間休止していた沖縄修学旅行が今年は解禁されました。沖縄で平和教育やアクティビティなど盛りだくさんのメニューが用意されており、君たちにとって友達との行動など一番の思い出になったことだろう。コロナにめげず再開されとても喜んでいきます。

さて、沖縄でもっとも有名な方言の一つに「なんくるないさ」があります。沖縄を舞台にしたドラマなんかで、しわくちやの優しいおばあちゃんが、子どもに「なんくるないさー」って言うシーンとか、目に浮かびます。「なんくるないさー」とはどんな意味でしょう。南国地方での明るい感じで「何とかなるサー」という感じかなと思っていましたが、この言葉の本当の意味は「真(ま)くとう) そーけー なんくるないさー」という定型句から来たものです。この意味は《真そーけー＝(人として)正しい行いをしていれば、なんくるないさ＝自然と(あるべきように)なるものだ》。つまり、単に「何とかなる」と言う楽観的見通しの軽い調子の言葉ではなく、本来の意味は「**どんな苦境に立たされても、正しい行いをし、誠を貫いていけば、いつか必ず道は開けてくる**」というような重い言葉の後半だけが使われています

沖縄のように小さな島の集まった国で台風など多くの自然災害も多くあり、大切に育てた作物でさえ計画通りに行かないことや沖縄の歴史の中で苦しいこともある中で作られた言葉だと思います。

ナンクルナイサーは人を励ますのはよし！でも、何にも努力しないで「ナンクルナイサー」と怠けてしまっただけは本来の意味にそぐいません。

これから受験などいろいろな試練が続きます。思うようにいかないときも多いでしょう、しかしどのような結果であれその時その時のやるべきことを行っていれば「ナンクルナイサー」

(文責：川嶋)

## 『1年の窓』

### 「意外性」と「バイアス」

1年生の「総合的な探究の時間」もいよいよ最終の課題「沖縄探究」に入りました。2月のクラス発表会でどのような成果が見られるか楽しみです。仲間と協同しながら1年間の学習を総括してください。

さて、今回は「バイアス」に関連して3冊本を紹介し、今後の探究活動や進路選択の参考にしてください。

説明会で私はバイアスには多様な意味があって日本語で適切な訳語がないと説明しました。しかし、バイアスと関係の深い言葉として「意外性」を想定するとわかりやすいのではないかと考えています。誤概念も錯視も言説も偏見も常識や正常を超えた意外な事実や真理と関係しているからです。また、バイアスを探究することが探究活動に効果的であると言うのは、従来の考え方やものの見方に意外性を見出し新しい発見や価値を付け加えようとするからです。

**【行動経済学】 推薦図書：ダニエル・カーネマン『ファスト&スロー』2014 ハヤカワ NF 文庫(原書は2011)**

人間の経済活動に心理学の要素を取り入れて分析できないかという発想で経済学と心理学の融合を進めた研究領域が「行動経済学」です。株式相場や為替相場の動きは政治、紛争、自然災害、技術革新など様々な要因で変動しますが、その過程で人々のバイアスのかかった心理が大きく関わっています。行動経済学はこうした大きな経済活動だけでなく、個人の経済行動も対象として人気のある学問領域です。著者はその第一人者でノーベル賞を受賞しました。

**【ウイルス進化論】 推薦図書：フランク・ライアン『破壊する創造者』2014 ハヤカワ NF 文庫(原書は2009)**

ウイルスが人類の歴史に及ぼした影響は計り知れません。コロナウイルスのように近年ではグローバル化につれてその規模や頻度が以前に比べて大きくなっていると言われてます。さらにウイルスは感染が広がる中で変異するという特徴もあり「人類最大の敵」と考えられています。この本はウイルスが宿主のDNAを変容させることで生命の進化をもたらしたとする「ウイルス進化論」という大胆な仮説を説いたものです。ここにも意外性を見出せます。

**【バイオミクリー】 推薦図書：ハーマン・ジェイ『自然をまねる、世界が変わる』2014 化学同人**

「バイオミクリー(生物模倣)」とは、生物を意味する「Bio」と模倣を意味する「Mimicry」の合成語で、自然界の仕組みやデザインを技術開発や課題に活かすことを言います。近年は実社会でもこの考え方が進み、新幹線のデザインがカワセミの形をヒントに作られたことはその1例です。関連する言葉で「バイオメティクス」や「生体工学」などが知られています。自然の仕組みやデザインを人間生活の発展に生かすという意外性を発見できます。(文責 今井)